折込パンフレット（多治見）三宅さんの見本 → 261030 第3版　変更箇所に印（赤枠＋番号）



表

1. 左上の中日新聞の旧マーク（赤白紺の旗）を、新しいロゴ（あたらしいきょうを編む。CHUNICHI）に（電話 80〜86行）
2. 「新聞ご購読者でなくてもご利用できます」は文言そのまま。切り貼りを清書（見本の「修正」／電話 56〜60行「新聞取ってない人でも利用できますよ、に変えたい」）
3. 「恵那地区中日新聞販売店会の」を外した［見本の側に印］（見本の「消す」／電話 52〜55行）
4. 「を始めました!!」を外した［見本の側に印］（見本の「消す」／電話 61〜69行）
5. 「中日新聞販売店と市内の信頼できる事業者と始めます」を、黄色の切り抜きから白地に緑の字へ（電話 87〜93行「白地に緑の字にしておいて」）
6. 「高齢社会生活支援サービス ちょこっと まごころサポート」は青のまま、白地に（電話 94〜98行「これは青のままにしておいて」）
7. 「み・まも〜る プラス とは」→「です」。前の文の「それが」をここへ移し「それが み・まも〜る プラス です（有料サービス）」と読めるように。前の文の「無料、読者安否確認」は「無料の読者安否確認」に（見本の「です」／電話 101〜104行）
8. 電話を持つしんぶん君（台帳の清書）を、枠なしでこの枠にはめた（電話 113〜114行）
9. 結論「地域の皆さんの（ちょこっとしたお困りごと解決）を切っ掛けに 市民のみなさんを支える仕組み」を、黄の札にして見出しと説明の下へ（文言はそのまま）（こちらで整えた（見本は縦の矢印の先））
10. 「溢れかえっている“介護保険外のSOS”」を挿絵の上の吹き出しに。小さな SOS の粒で、こぼれ出る様子を表した（文言はそのまま）（こちらで整えた）
11. 地域支援サポートの帯＝恵那→多治見。濃い青の地をやめ、黄色の地に白い札・緑の見出し、団体名は紺の字に細い区切り線で並べた（後援の了解は確認待ち）（見本の「修正」「恵那→多治見」／電話 46〜53行）
12. 左のしんぶん君を台帳の清書（高解像度）に。見本のハートを抱く絵はチラシから抜いた 100dpi の画像しかなく、この大きさでは印刷で荒れるため（こちらの判断（ハートの清書を作るかは要相談））
13. 小さな挿絵3点を台帳の清書に差し替え、枠をなくして横に並べた（相談 → お手伝い → チケットの順。文言はそのまま）（こちらで整えた（見本は切り貼りの画像））

全面に掛かる変更

- 出どころ＝三宅さんの見本（00_受領資料/261030/多治見モデル（スケジュール）(261030).pdf p2・p3 の赤い吹き出し）と、10/30 朝の電話（01_LINEログ/ミーティング記録_261030.md・括弧内の行番号は文字起こしの行）
- 見本は恵那地区の紙・リーフレット・松尾さん案の切り貼り。全部を1つのデータ（HTML→PDF・書体 Zen Maru Gothic を埋め込み）に組み直した
- 配色は松尾さん案の黄 #FEDD0F・黄緑 #80CC28 にそろえた（電話 317〜341行「まずはそれでいってみよう。最終的に佐藤社長が確認」）
- 文字の組み方は松尾さん案にそろえた＝和文は詰めずに組み、文字は紺、太さは見出しと本文の2段。電話番号・料金・注意書きの強調はマゼンタ
- 段の間隔は表も裏も均等にそろえ、紙の端の余白は上下左右 7mm にそろえた
- 文言は見本のまま。句読点を補った箇所と、指示で変えた箇所だけを一覧に挙げた
- B 版（バックキャスティングなし）は、裏の下のバックキャスティングの一文だけを外したもの。ほかは A と同じ

折込パンフレット（多治見）三宅さんの見本 → 261030 第3版　変更箇所に印（赤枠＋番号）



裏

14 頭の帯の CHUNICHI を、青の地に白抜きに（見本は緑の札の切り抜き）（電話 43〜46行「白抜きにしてもらいたい」）

15 「日々の暮らしのちょっとしたお困りごと」の吹き出しを横書きに（配置を整えた）（電話 127〜128行「どんなふうな配置でもいい」）

16 「こんなことをサポートします」の箇条書きに淡い桃の地を敷いた（松尾さん案と同じ）（こちらで整えた）

17 支援キャストの挿絵の枠をなくした（背景を抜いた絵＋地面の影）（こちらで整えた）

18 よくあるご質問は文言そのまま。字を 9〜10pt から 11pt に上げた（デザイン台帳の決まり（本文 11pt 以上））

19 「チケットををお求めください」の「を」の重なりを直した（誤字）

20 「チケットの買い方」欄の仮の文（松尾さんの問い）を外し「チケットの買い方はお電話でご説明します」に。チケットの段は 料金｜券の写真｜使った分だけ の3列に（電話 133〜136行「チケットのことはリーフレットで詳しく説明すればいい」）

21 「始め。」→「始めます。」／「他の地域に付いては。」→「他の地域については、」／「市内全地域へ」→「市内全域へ」。帯を満たすよう文字を大きく（電話 147〜166行「市内全域で展開しますよ」）

22 お問い合わせ＝まごころちょこっとサポート運営事務局（中日新聞販売店 株式会社両藤舎）＋まごころサポートセンターの電話に整理（電話 170〜183行）

23 恵那の紙の残り（「地域事務局」の札・みさと愛の会の QR・別の電話番号）を外した［見本の側に印］（電話 184〜188行「前のやつを切り取ってきただけ」）

24 SDGs のロゴは入れていない［見本の側に印］（こちらの判断（国連のロゴ使用の決まりがあるため。入れるなら公式データで））

25 バックキャスティングの一文＝A 版に入れた（B 版は外した）（電話 194〜203行「入れているかどうかはバランス次第」）

全面に掛かる変更

- 出どころ＝三宅さんの見本（00_受領資料/261030/多治見モデル（スケジュール）(261030).pdf p2・p3 の赤い吹き出し）と、10/30 朝の電話（01_LINEログ/ミーティング記録_261030.md・括弧内の行番号は文字起こしの行）
- 見本は恵那地区の紙・リーフレット・松尾さん案の切り貼り。全部を1つのデータ（HTML→PDF・書体 Zen Maru Gothic を埋め込み）に組み直した
- 配色は松尾さん案の黄 #FEDD0F・黄緑 #80CC28 にそろえた（電話 317〜341行「まずはそれでいってみよう。最終的に佐藤社長が確認」）
- 文字の組み方は松尾さん案にそろえた＝和文は詰めずに組み、文字は紺、太さは見出しと本文の2段。電話番号・料金・注意書きの強調はマゼンタ
- 段の間隔は表も裏も均等にそろえ、紙の端の余白は上下左右 7mm にそろえた
- 文言は見本のまま。句読点を補った箇所と、指示で変えた箇所だけを一覧に挙げた
- B 版（バックキャスティングなし）は、裏の下のバックキャスティングの一文だけを外したもの。ほかは A と同じ